氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
秋吉 宏尚	双曲幾何と3次元多様体論	4 第の高い数件を
阿部 健	偏微分方程式論	4 第の高い教育を あんなに
伊師 英之	リー群の表現論、非可換調和解析	4 第の高い教育を あんなに
大仁田 義裕	微分幾何学、調和写像論	4 英の高い歌音を
尾角 正人	可積分系と表現論	4 英の高い歌音を あんなに
加藤 信	大域解析学(多様体の幾何解析)	4 英の高い歌音を あんなに
金信 泰造	結び目理論	4 第の高い教育を あんなに
小池 貴之	複素幾何学、多変数函数論	4 東の高い歌音を あんなに
佐野 昴迪	L関数の特殊値と岩澤理論	4 第の高い教育を みんなに

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
砂川 秀明	双曲型および分散型の非線形偏微分方程式	4 河の高い教育を みんなに 1
高橋 太	変分法、非線形偏微分方程式論	4 河の声い教育を
田丸 博士	等質空間の微分幾何学	4 第0年の数章を
西尾 昌治	ポテンシャル論	4 第0声い数音を みんなに i
演野 佐知子	複数解析、多変数関数論	4 東の高い教育を みんなに
古澤 昌秋	保型表現と保型L函数	4 河の高い改音を
宮地 兵衛	Hecke環の表現論と圏化	4 対の高い数目を みんなに
山名 俊介	モジュラー形式とL関数	4 対の高い数用を みんなに
吉田 雅通	エルゴード理論、力学系に基づく作用素環論	4 東の高い教育を みんなに

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
石原 秀樹	相対論的宇宙物理学	4 河の高い教育を あるなに
糸山 浩	場の量子論および弦理論	4 河の西の教育を あんなに 1
中尾 憲一	重力理論及び宇宙論	4 河の高の数章を あんなに
櫻木 弘之	原子核理論:核反応理論、核物質中の有効相互作用	4 河の高の数章を あんなに
浜端 広充	プラズマ中の非線形磁気流体波と乱流	4 河の高の数章を
有馬 正樹	クォーク模型とハドロン間相互作用	4 河の高の数章を あんなに
丸 信人	超対称性、高次元理論に基づく標準模型を超える物理	4 河の西の教育を あんなに 1
森山 翔文	弦理論とゲージ理論の数理	4 河の高の教育を
神田 展行	重力波検出実験、重力波宇宙物理学	4 東の高い教育を 入んなに

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
清矢 良浩	高エネルギー物理学、ニュートリノ・ミューオンの物理	4 第0点の数性を あんなに
荻尾 彰一	高エネルギー宇宙線物理学、高エネルギー天文学	4 第0点い発音を みんなに i
山本 和弘	ニュートリノ物理、ミューオン物理、陽子・反陽子物理	4 %0auxie
中野 英一	素粒子実験物理、宇宙線観測	4 第0点い発行を 3 商業と技術革新の 基準をつくろう
常定 芳基	超高エネルギー宇宙線物理学	4 %0auxie
岩崎 昌子	素粒子実験物理学	4 第0点い窓門を 3 高者と技術系統の 基徴をつくろう
伊藤 洋介	重力波宇宙物理学・天文学	4 第の高い商用を あみなに
石川 修六	超低温物理学:量子液体の相転移現象と量子渦	4 第0点の発音を みんなに
坪田 誠	物性理論:量子流体	4 第0点の設定を みんなに

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
小栗 章	物性理論:電子系の多体効果、量子輸送	4 第四萬以前を あんなに ・
井上 慎	量子エレクトロニクス実験:レーザー冷却とボース凝縮	4 第四萬八章を あんなに
矢野 英雄	超低温物理学:量子液体の相互作用と位相欠陥	4 河の高い高音を みんなに
杉﨑 満	時間と空間の極限で陽になる物理現象の探索	4 第0点い窓点を 7 主意ルギーをみるに もしてクリーンに
鐘本 勝一	有機半導体の光・スピン・デバイス物性	4 河の高い高音を みんなに
小原 顕	超低温物理学:量子液体中の音波の伝播	4 河の高い高音を みんなに
西川 裕規	物性理論:強相関電子系、量子輸送	4 所の高い高音を あんなに
竹内 宏光	量子流体力学:量子気体および量子液体の流体静力学と流体動力学	4 第0系い表字を あんなに
佐藤 和信	分子性有機磁性化合物の電子状態、電子磁気共鳴分光法、分子スピン量子 コンピュータ	9 産業と技術等所の 基準をつくろう

理学部·理学研究科

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
手木 芳男	分子磁性と有機スピン系の光励起状態および分子素子の研究	9 産業と技術革新の 基準をつくろう
細川 千絵	光摂動による細胞内分子機能の解明	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
八ッ橋 知幸	高強度超短パルスレーザーと分子との相互作用	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
迫田 憲治	光の量子性を取り入れた顕微分光法の開発と複雑分子系への応用	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
塩見 大輔	結晶性有機固体の磁性・磁気共鳴	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
宮原 郁子	タンパク質の立体構造と機能	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
吉野 治一	低次元伝導体の輸送現象と高効率熱電材料の探索	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
豊田 和男	分子の磁性・励起状態に関する理論化学・計算化学	9 産業と技術業務の 基準をつくろう
藤原 正澄	量子ナノフォトニクスに立脚した革新的分子機能計測法の開拓とその応用	9 産業と技術業所の 動物をつくろう

理学部·理学研究科

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
小嵜 正敏	高機能精密巨大分子の創出	9 産業と技術本等の 基数をつくろう
佐藤 哲也	触媒を用いた有機合成反応の開発	9 産業と技術革命の 基徴をつくろう
品田 哲郎	高度生体応答物質の合成研究	9 産業とは初本等の 基準をつくろう
西村 貴洋	触媒的不斉合成反応の開発	9 産業とは初本等の 基数をつくろう
森本 善樹	合成有機化学·天然物有機化学	9 産業とは初本等の 基数をつくろう
臼杵 克之助	生物有機化学:生物活性物質の構造決定・合成・機能解析	9 産業とは初本等の 基数をつくろう
坂口 和彦	反応活性種の設計・制御と分子変換法の開発	9 産業とは初本等の 基数をつくろう
舘 祥光	生体の機能解明と分子構造の精密制御による機能分子の創成、開発	9 産業と世刊本等の 基徴をつくろう
西川 慶祐	高活性天然有機化合物の合成と新規合成手法の開発	9 産業と技術革命の 基準をつくろう

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
篠田 哲史	分子認識素子の開発と機能	9 産業と技術革新の 基礎をつくろう
坪井 泰之	ナノ・マイクロ分析化学・分光計測とプラズモニクス	9 産業と技術革新の 基準をつびるう
中島 洋	金属タンパク質を基盤とする機能性材料の開発	9 産業と技術革新の 基準をつなろう
森内 敏之	ハイブリッド錯体システムの創成	9 産業と技術革新の 基準をつなろう
西岡 孝訓	機能性錯体および無機材料の設計	9 産業と技術革新の 基準をつなろう
三宅 弘之	動的超分子錯体の創成と機能化	9 産業と技術革新の 基準をつなろう
板崎 真澄	遷移金属錯体による分子変換反応の開発	9 産業と技術革新の 基準をつくろう
三枝 栄子	分子認識素子の集積化と機能性材料の開発	9 産業と核形革新の 基準をつくろう
柚山 健一	光の力学作用を利用した物質操作手法の開発と顕微計測	9 産業と技術業務の 基準をつくろう

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
中山 淳	天然有機化合物を基盤とした包括的化学研究	3 産業と技術革務の 基準をつくらう
安房田 智司	魚類の繁殖戦略についての行動生態学的研究	4 第0系が表現を
伊東 明	植物の更新過程と多種共存機構	4 第の高い教育を かんなに 13 新統改善に 別体的の対策を 15 第の意かきも アルクト
伊藤 和央	酵素の構造・機能相関と調節およびその応用	3 まべての人に 4 第0系が設定を 4 みんなに i
植松 千代美	花の色と形の分子生物学	4 第の和心教用を 36なに 15 第の第か多も 95分
厚井 聡	植物の多様性と適応進化	4 第9系の数据を 36なに 15 第9を36 95分
幸田 正典	脊椎動物の行動生態学と認知行動学	4 第0点の表表 3んなに
後藤 慎介	動物の季節適応の生理学	2 新報を せ口に 4 別の本の表示を 15 間の意かさも 15 関係の意かさも 15 関係の意かさも 15 関係の意かさも 15 関係の意かさも 15 関係の意からも 15 関係の意から 15 関係の意からも 15 関係の意から 15 関係を 15 関係の意から 15 関係の意から 15 関係の意から 15 関係の表も 15 関係の意から 15
小宮 透	動物発生の分子生物学	3 まべての人に

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
小柳 光正	光受容タンパク質の構造と機能の多様性	3 すべての人に 4 対の高い部界を みんなに
曽我 康一	環境要因による植物の成長と形態形成	2 Mare took of the state of the
寺北 明久	シグナル伝達タンパク質の構造と機能の多様性	3 すべての人に 4 対の高い部界を みんなに
中村 太郎	分裂酵母における有性生殖の分子メカニズム	3 すべての人に 4 対の高い窓前を みんなに
名波 哲	植物の性表現と個体群維持機構	4 *AのAいの間を かんなに
藤田 憲一	薬剤耐性機構を標的とする生理活性物質	3 まべての人に 4 第の高い数章を みんなに
藤原 郁子	細胞骨格のダイナミクスと運動能に関する研究	3 すべての人に 4 第の高い数章を みんなに
渕側 太郎	動物社会のリズム生態学	4 英の声い歌音を かんなに 15 権の重がさる
増井 良治	DNA修復と翻訳後修飾の分子機構	3 学べての人に 4 別の高い音音を みんなに

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
水野 寿朗	中胚葉誘導における細胞間相互作用	4 第の高い教育を あんなに
宮田 真人	モリクテス綱細菌における三種の運動メカニズムとその起源	2 振舞を せっぱ 3 赤人ての人に
山口 良弘	細菌におけるアポトーシス様細胞死の生理的役割	3 まべての人に 世典と監督を 4 男の高い教育を みんなに i
山田 敏弘	植物の進化発生学と古植物学	4 第9所(数数に 13 無機数数に 15 類の重めるも
若林 和幸	植物細胞壁の構造と機能	2 和報を せらに 4 为の本い教育を
升本 眞二	地質情報の定式化と表現方法	15 #0προκεύ ———————————————————————————————————
山口 覚	地震発生域(断層・スラブ周辺)の構造・状態	11 日本度付金れる ヨカヴくりを
三田村 宗樹	都市地質学:大阪平野の地盤特性	11 日本県付金和志 日本
原口 強	地質工学:地質災害とヒューマンインパクト	6 完全な水とドイン を他的のに 11 (A 株) なからくいち 11 (A 株) なからくいち 13 (A 株) ながまた 14 (物のなかまた であった であった であった であった であった であった であった であっ

氏名	研究テーマ	研究テーマに関連する目標番号
井上 淳	第四紀地質学:人と自然の相互関係史	13 気候変形に 日5 日の重かさも サード
根本 達也	地質情報の共有と利活用方法	11 住み場けられる
益田 晴恵	地殻表層部の水循環に伴う物質移動	3 対人での人に 6 安全な水とトイン 10 人や国の不平等 14 第の重かさを で 2 15 特の重かさも で 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
江﨑 洋一	地球環境変遷史: 化石刺胞動物の系統	13 気候変数に 15 様の意かさも サンド
篠田 圭司	X線回折法と分光法を用いた鉱物の研究	4 第の高い政府を みんなに
奥平 敬元	地殻ダイナミクス:下部地殻の変成・変形作用	11 住みほけられる 15 程の意かさも
柵山 徹也	マグマ生成・分化とマントル熱・物質循環過程	4 第の高い政治を みんなに ・
足立 奈津子	礁生態系の変遷様式と地球表層環境の変動	14 #02 or 8